

2011年3月1日

開講機関:(独)放射線医学総合研究所

放射線医学総合研究所

保田 浩志

1. 教育活動の趣旨

独立行政法人放射線医学総合研究所(以下「当機関」という。)は、千葉市稲毛区に在る文部科学省所管の公的研究機関(注1)である。放射線と人の関係について総合的に研究開発を進める我が国唯一の研究開発機関で、「放射線の安全性と医学応用」及び「高線量から低線量まで」という2つの軸を持ち、広い視野に立ってこれらを統合する先端的な研究を推し進めることにより、人々の健康と安全安心な社会の構築に努めている。

その一環として、当機関では、当所で行われている研究開発や安全管理に関する現状や計画を広く一般市民(特に立地する千葉県の住民)に知ってもらい、放射線医学研究に関する理解を深めてもらうべく、このたび「知の市場」と連携して社会人及び学生向けの再教育講座に参画することとした。

注1) 放射線医学総合研究所ホームページ、<http://www.nirs.go.jp/index.html>

2. 2010年度の開講実績と課題・問題点及び今後の対応策
新規科目のため該当せず。

3. 2011年度の開講内容及び目標と課題

当機関にとって初めての参画となる2011年度は、後期(10月5日～2012年2月12日)において、放射線医学に関わる基礎レベル講座1科目、全15回の講義を行うことを計画している。開催場所には、地域住民及び講師の利便性を鑑み、JR 稲毛駅近くの会議室(最大収容人数45名)を借用する予定で、定員は40名とする。時間帯は、毎週水曜日17時30分～19時30分を予定している(関係者との調整要)。なお、当機関では2011年4月に組織全体の再編があることから、その時点で改めて講師の要望などを集約・検討してシラバスに反映させる。

本講座には、正式な科目名である「放射線医学特論」とは別に、一般の人に親しみやすいキャッチフレーズとして「放射線医学研究の最前線をまるごと学ぶ“放医研プレミアム講座”」という呼び名を設け、熱意ある受講者を多く確保するべく宣伝に努める。

4. その他、抱負や提案など

初めての開講で要領を得ず試行錯誤することも多いと思うが、誠実に対処していきたい。

以上